

講義科目 : 社会調査論 (69・68期生)	単位数 : 2
担当 : 安藤 直樹	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

本講義では、社会調査において最もよく用いられている質問紙調査が行われるプロセスについて紹介します。そして、具体的な事例を用いながら、質問紙調査を実施するのに必要な基本的知識と方法を身につけていきます。

また、学術的な調査を取り上げることで研究のプロセスについても紹介するとともに、社会科学的な考え方も養っていききたいと思います。

授業計画

以下の予定で進めていきますが、進捗状況によって変更することもあります。

- 第1回 オリエンテーション（シラバスの内容確認）、社会調査とは
- 第2回 調査の企画①（問題の提起、情報収集の方法）
- 第3回 調査の企画②（仮説の設定）
- 第4回 調査の企画③（測定と尺度水準）
- 第5回 質問紙の作成①（質問文の作成）
- 第6回 質問紙の作成②（回答形式、質問紙の構成）
- 第7回 調査の実施①（標本調査とサンプリング）
- 第8回 調査の実施②（質問紙調査の実施方法）
- 第9回 調査の実施③（コーディングとエディティング）
- 第10回 データの処理（記述統計）①（1つの変数の特徴を記述する）
- 第11回 データの処理（記述統計）②（1つの変数の特徴を記述する）
- 第12回 データの処理（記述統計）③（2つの変数の関係を記述する）
- 第13回 データの処理（推測統計）①（統計的推定）
- 第14回 データの処理（推測統計）②（統計的仮説検定）
- 第15回 調査結果の報告（報告書の書き方、発表の仕方）

教材・テキスト・参考文献等

テキストは使用せず、必要な資料を適宜配布します。参考文献については授業の中で紹介します。

成績評価方法

毎回の授業で行う課題の提出状況（40%）とレポート（60%）により成績を評価します。授業では毎回出席を確認します。特別な理由なく、出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は評価の対象外となりますので、注意してください。毎回の授業で行う課題およびレポートについては授業の中で詳しく説明します。

その他

データを扱う際に電卓を使用するので、事前に準備しておいてください。電卓を使用する時期については授業の中で指示します。

質問はいつでも受けつけますので、わからないことがあれば遠慮なく聞いてください。